

W杯前哨戦・トンガに勝つ! ジャパンPNC優勝/W杯情報いろいろ! / 2011春の大学勢力図

平成23年7月25日発行・発売(毎月25日発行・発売)  
第40巻・第9号・通算468号 昭和50年7月2日第三種郵便物認可

ラグビーマガジン

# Rugby magazine 9

SEP. 2011 No.468

2011大学春総括  
混沌の真相

ジャパン・パシフィック・ネーションズカップ優勝!  
**決戦へ加速せよ。**

REPORT ◆ フィジー、トンガ戦快勝、サモア戦黒星の深層  
INTERVIEW ◆ 西原忠佑[日本代表FL]  
STORY ◆ 『背番号2』を我が手に。  
ジャパンA、NZ遠征で3戦全勝  
ワールドカップへ行きたくなる!  
ジャパン試合会場巡回リポート②

定価 920円  
ベースボール・マガジン社  
<http://www.bbm-japan.com>





男のエステ  
ダンディハウス PRESENTS

# Beach Football Japan Tour 2011



B-1 プレミアム

ROUND 2

第16回

## 南紀白浜大会

6 / 25 (土)・26 (日)

和歌山県白浜町・白良浜海水浴場

主催：国際ビーチフットボール協会

共催：ビーチフットボール白浜大会実行委員会

後援：白浜町、白浜観光協会、白浜温泉旅館

協同組合、白浜町商工会、JA紀南

全国各地で続々と梅雨が明け、本格的なビーチフットボールシーズンが到来した。注目のB-1プレミアムでは昨シーズンのランキング1位、team ZEROがROUND2南紀白浜大会で地力の違いを見せつけ今季ツアー初勝利。続く関西大会ではDENKO MACが2勝目を挙げるなど、関西勢の好調が目立っている。7月31日の全国大会へ向け強豪が虎視眈々と牙を磨く中、激戦を抜け出すのはどのチームなのか。ますますヒートアップするタイトル争いの模様を徹底レポート!

# ZERO、貫禄の連覇。

### 昨季年間王者がツアー2戦目で全国大会出場権をゲット。 レディースはBUSAIKUが白浜初出場で初優勝!



Beach Boysを下し決勝進出を果たしたロングバケーションwith BAGUS。決勝は疲れから足が止まったが、後半にタッチインを返し意地を見せた



わずか5人での出場ながらツアー1勝目を挙げたBUSAIKU。宿敵・SAMPLEとのファイナルでは前半早々に奪った3点を守り抜いた

OFFICIAL STAFF WEAR  
株式会社ドーム



真っ白なビーチ、南国を思わせる景観など抜群の環境を誇る南紀白浜大会には、やっぱり青い空がよく似合う。雨の予報をくつがえし、2日間とも好天に恵まれ35度近くまで気温が上昇する夏空の下、今年も熱い熱い戦いが白良浜で繰り広げられた。

2011年ジャパンツアー第2戦のB-1プレミアム決勝に進出したのは、昨シーズンのグランドチャンピオン、team ZEROとロングバケーションwith BAGUS。試合は開始1分に得意のフロントパスでタッチインを奪うなど、ZEROの流れで始まった。ハーフタイム直前には福田良介選手が1対1を見事に抜きさって独走タッチインを挙げ、8-0とリードを広げる。さらに後半開始早々には約25分のフロントパスを成功させ、ノーホイッスルで追加点。先制→追加点→駄目押しという理想的な展開で、一気に勝負を決めた。

終盤、ロングバケーションのワイド攻撃に意地のタッチインを許したが、主導権は終始ZEROが握ったまま。危なげなく試合をコントロールし、今季初優勝を手にした。東海大会では同じ近畿勢のDENKO MACに競り負けたものの、やはり地力は随一。今年も優勝争いの中心となりそうだ。

レディース決勝は南紀白浜大会初参加のBUSAIKUが、大会連覇を狙うSAMPLEと激突。BUSAIKUが5人、SAMPLEは6人と、

ともに少人数での参加ながら、序盤からスピーディーな攻防を繰り広げた。試合は前半3分、BUSAIKUが小刻みにパスをつないで相手防御を下し、先制タッチイン。その後はSAMPLEの厳しいチェックにスコアを積み上げることはできなかったものの、豊富な運動量と粘り強いカバーでゴールラインを死守。虎の子の3点を最後まで守り抜き、きわどく逃げ切った。

B-2トーナメントには高校ラグビー界の巨星、大阪の常翔学園の現役選手が結成したチームも参加し、若さあふれるダイナミックなプレーで大会を盛り上げた。IBFAの若狭平和副会長は「厳しい夏合宿の前に、楽しい仲間と、いつもとは違うロケーションで心から笑える時間を作るのは、チーム作りにも役立つと思う」とコメント。「もっと多くの高校で、ビーチフットボールを活用して絆を深めてほしい」と呼びかけた。

なお白浜大会では毎年、地元・熊野名産のお茶を参加賞として全出場チームにプレゼントしているが、今年は参加者から「ぜひ東北震災の被災地に送ってほしい」という強い要望があり、ドリンク約50ケースが被災地に届けられた。また地元青年会議所のメンバーが無料でかき氷を提供するブースには募金箱も設置され、集まったお金は義援金として被災地に送られることが決定した。



男子MVP

福田良介選手  
(team ZERO)



女子MVP

森岡美美選手  
(BUSAIKU)



オーバー35で4連覇を達成。白浜大会はまさに敵なし状態の大阪スーパーモンキーズ



ラウンド1東海大会に続いて惜しくも決勝で涙を飲んだSAMPLE。それでも6人での参加で頂点に肉薄するなど、今年も優勝争いに絡んできそうだ



恒例の白浜大会ベストドレッサーは、2年連続でオレンジモンキーズが獲得



今大会には大阪・常翔学園の現役高校生チームも参加。切れ味鋭いプレーで観客をわかせた

B-1プレミアム・優勝 team ZERO (兵庫県)

B-1プレミアム・準優勝 ロングバケーションwith BAGUS (愛知県)

レディース・優勝 BUSAIKU (東京都)

レディース・準優勝 SAMPLE (兵庫県)

オーバー35・優勝 大阪スーパーモンキーズ (大阪府)

※B-1プレミアムおよびレディースの優勝チームに、株式会社シェイプアップハウス様より御招待券が各10名ずつ贈られました。

▶B-1 PREMIUM

team ZERO	8
DENKO MAC	3
Beach Boys	0
ロングバケーションwith BAGUS	11

team ZERO

▶LADY'S TOURNAMENT

BUSAIKU	14
LUCIE	0
SAMPLE	7
マジックエリンギ	0

BUSAIKU

▶OVER 35

大阪スーパーモンキーズ	10
新宮B.R.F.C.35	3
Laugh and grow fat	16
KENYON	0

大阪スーパーモンキーズ